

今年度も各担当の保育者が、園内の様々な取り組みや子どもたちの姿を「たのしいな ようちえん！」を通してお知らせしていきます。また、園だよりと同様に園のHPでも閲覧できるように掲載していきます。

第1回目は、園での「自然あそび」について紹介いたします。自然の中で遊ぶと、子どもはさまざまな感動体験ができます。そのような体験を積み重ね、子どもの身体だけでなく心の成長にも繋げています。

自然とあそぶ 子どもたち

自然に親しみ興味関心を深められるよう、園では年間を通して自然あそびを楽しんでいます。子どもたちは、自然を上手にあそびに取り入れ、発見や探求することを楽しんだり、季節の移り変わりに気づいたりしています。



図鑑と袋を持って「お豆見つけた！」 「この中にダンゴムシ100匹いるよ！」 「そうだ！ 苺にも お水あげよう。」

5月に園内で見られた自然物

園庭

パンジー(プランター)



フジ(砂場上 藤棚)



カラスノエンドウ



ダンゴムシ・アリなど



石垣 (園舎東側の裏庭)

矢車草



苺・キンカン



じゃがいも(畑)など



虫カゴについて

「虫カゴを持たせてもいいですか？」と保護者の方から質問を受けることがあります。お子様自身が虫カゴの使い方を理解し、自己管理ができるようであれば“持参可能”としています。

お子様に虫カゴを持たせる場合は、以下の4点にご協力いただきたいです。

- ① 遊び方によっては破損や紛失することをご理解の上で持たせてください。
- ② 虫カゴに必ず記名をしてください。
- ③ 「友だちに貸さない。園で採った生き物を持ち帰らない。」ということをご家庭でも約束していただくとありがたいです。(トラブルを防ぐため)
- ④ 園に生き物を持たせたい場合は、保育者へご相談ください。

※ 通園バスには安全のため、中身(生き物や土等)が入った状態の虫カゴは持ち込むことはできません。

